

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

## 第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに全ての原発を廃炉にする。
- 安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原子力規制の徹底強化を図るとともに、国民的議論を基に結論を出して「原発ゼロ社会」の実現をめざし、2030年代には原発稼働ゼロを可能とするため、あらゆる政策資源を投入していきます。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに廃炉にする。
- 道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。  
( 年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原子力規制委員会が策定する、厳格な安全基準に基づく安全対策の徹底、原子力防災対策、防災計画の徹底強化や関係自治体・住民の合意と国民の理解を大前提とする。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに建設を断念すべき。
- 道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

20年程強い懸念を有している北海道の関係自治体や住民への十分な説明等がなされていなければ、何れかの事故発生への強い懸念を不安が表面化しています。政府はなし崩し建設推進の根本的見直し、再検討へと引き続き強く求めます。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

## 第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・断固として認められない。
- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

昨年、坑道の地下250mまで入り、工事の状況をつぶさな調査してきましたが、「研究」の目的で巨額の予算を使うはずが、いざとなると実感しています。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？ また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- ・知っている。
- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原発問題をほか、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をしていくことが極め重要です。党派を超えて、行動の議員のより「原発ゼロの会」で原発の危険は実態も、原発ゼロ、再処理ゼロに向けて活動しています。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- 機会があれば参加したい
- ・考えていない
- ・参加したくない。

北海道第12区  
氏名 衆議院議員候補 山崎 孝也

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。